



秋情協 ニュース

2011. 8

58

社団法人 秋田県情報産業協会
〒010-1623 秋田市新屋字砂奴寄 4-11
秋田県工業技術センター内
☎018-862-9820 (FAX兼用)

平成23年度第18回通常総会開催



総会前に開催された理事会



近藤会長挨拶



総会会場風景



総会に参加された来賓の方々

目

次

- 平成23年度第18回通常総会開催 1
- 平成23年度通常総会・記念講演会開催 2
- Computex TAIPEI 2011 視察報告 4
- 義援金の御礼 5
- 平成23年度合同新入社員研修(一般研修) 6

平成23年度通常総会・記念講演会開催

平成23年5月20日、シャインプラザ平安閣秋田

平成23年5月20日（金）シャインプラザ平安閣秋田において、平成23年度第18回秋田県情報産業協会通常総会が開催されました。総会に先立ち、第2回理事会が開催され、通常総会に提案される議題について提案され、承認されました。4時半より吉田副会長の司会進行で総会が開始され、まず近藤会長より挨拶がありました。近藤会長は、「大震災より2ヶ月が過ぎようとしているが、その復興も徐々に進んできている。この大災害の中で、地震、津波だけではなく、原子力などの災害でのリスク管理が重要である。23年度の事業として、10月までに一般社団法人化の申請を終えたい。また、県も地域活性化に積極的に取り組んでいると



秋田県大石部長の講演

ころだが、我々もワーキンググループをつくって、定期的に秋田県とも検討会をすすめていく。これからも、地域活性化のために活動できるよう、事業を進めていきたい。」と述べられました。

また、秋田県商業貿易課の武田課長より、「秋田県としても災害については相当の支援をしている。今後も観光地の誘客促進などに積極的に取り組んで参りたい。情報関連施策として、より一層秋田県情報産業協会と秋田県が強力に共同作業を進めていきたい。」と挨拶されました。

続いて、議長に近藤会長が選任され、平成22年度事業報告及び決算、平成23年度事業計画及び予算が承認されました。また今年役員は改選期にあたり、別紙の通り選任され、つつがなく総会は終了いたしました。



秋田県商業貿易課 武田課長挨拶

その後、総務の湊氏（クリック）の司会で、記念講演会が開催されました。

今回の講師の、秋田県企画振興部長の大石勤さまより、「秋田県の危機管理の現状と課題」というテーマで、約1時間にわたって講演をしていただきました。大石部長は3月まで秋田県危機管理者としての実務体験をもとに、綿密な数字もあげられ、秋田県の危機管理はどうなっているのかを丁寧に説明していただきました。まさに、震災から2ヶ月が過ぎた今にふさわしい講演内容でした。

続いて、東北経済産業局情報産業支援室の柏さまより「東北管内情報サービス産業の動向と関連施策のついて」という題材で、お話をうかがいました。「地域コミュニティを形成するクラウドができないか、地域の農商工連携をどう進めるか。」という観点からお話していただきました。

6時半より、約50名の方が参加して会員交流会が行われました。



乾杯の音頭

22年度決算概要

費 目 (収入の部)	金 額	費 目 (支出の部)	金 額
会 費 収 入	3,060,000	事 業 費	4,072,143
事 業 収 入	2,886,600	管 理 費	3,447,819
補 助 金 等 収 入	712,000	次 年 度 繰 越	2,251,364
雑 収 入	768		
前 期 繰 越 金	3,111,958		
合 計	9,771,326	合 計	9,771,326

23年度予算概要

費 目 (収入の部)	金 額	費 目 (支出の部)	金 額
会 費 収 入	3,290,000	事 業 費	3,940,000
事 業 収 入	1,565,500	管 理 費	3,370,000
補 助 金 等 収 入	1,130,000	予 備 費	927,864
雑 収 入	1,000		
前 期 繰 越 金	2,251,364		
合 計	8,237,864	合 計	8,237,864

役員担当職務

役職名	氏 名	会員企業名等	担当業務
理 事 会 長	近 藤 和 生	エイ・デイ・ケイ富士システム(株) 代表取締役	事 業 推 進 統 括 幹 事 地 域 情 報 化 特 別 委 員 長
理 事 副 会 長	江 畑 佳 明	北日本コンピューターサービス(株) 代表取締役	事 業 推 進 統 括 幹 事 人 材 確 保 推 進 特 別 委 員 長
理 事 副 会 長	吉 田 進	秋田ゼロックス(株) 取締役副社長	事 業 推 進 統 括 幹 事
理 事	佐々木 攻	(株)トミスシステムズ 専務取締役	
理 事	糸 田 和 義	(株)アチカ 代表取締役専務	
理 事	菊 地 定 夫	(株)シグマソリューションズ 代表取締役	事 業 推 進 統 括 幹 事 普 及 ・ 啓 発 委 員 長
理 事	熊 谷 正 司	(株)くまがい印刷 代表取締役	総 務 ・ 企 画 委 員 長
理 事	沢 井 良 一	(株)アキタ電子システムズ 部長	福 利 ・ 教 育 委 員 長
理 事	石 田 吉 行	東光コンピュータ・サービス(株) 常務取締役 秋田支店長	調 査 ・ 研 究 委 員 長
理 事	菅 原 晟	(株)北都情報システムズ 代表取締役	
理 事	菅 原 恵 悦	(株)アキタシステムマネジメント 取締役システム部長	雇 用 改 善 担 当
監 事	大 門 一 平	秋田印刷製本(株) 代表取締役社長	
監 事	高 橋 公 悦	秋田県中小企業団体中央会 事務局長	

Computex TAIPEI 2011 視察報告

株式会社アキタ電子システムズ 沢井 良一



2011年5月31日～6月4日台湾台北市にて世界第2位、アジア最大級のコンピュータ関連の展示博覧会であるComputex TAIPEI 2011が開催されました。

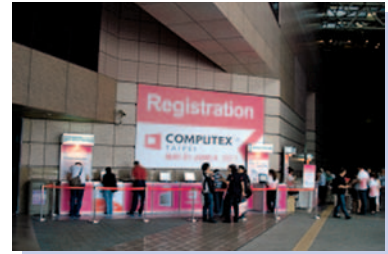
IT機器、ITソリューションの最新動向、トレンドの調査のため、JASA（組み込みシステム技術協会）が企画した視察プログラムに6/2から6/4まで参加したので報告します。JASAは自らComputex TAIPEI 2011への出展も行っています。またTCA（台北市コンピュータ協会）が企画した新竹サイエンスパーク見学に参加することで台湾研究所や企業を訪問しました。

初日はTCAとJASAの交流会が開催されました。北京ダックを台湾ビールで頂きました。左から、ソフィアシステムズ社長、沢井、JASA国際委員、JASA理事、JASA副会長です。手前の女性の方はTCAの方でComputexのスタッフです。



Computex TAIPEI は、主に欧米のクリスマス商戦に向けたバイヤーが夏の量産を含めて買い付けをする場です。このため先進性よりも半年後のトレンドという具体的なマーケットに向けた展示となっています。

会場は、世界貿易センター（台北101の隣）で3ホール、南港展示場で2ホールで開催されました。



注目は、ジェスチャーセンサーです。Xbox360のKinectセンサーと同様に前面のカメラで人間の動きを感知し操作します。将来はリモコンがなくなり、すべての家電がTVという情報センターでジェスチャーで操作できるようになるだろうと、説明していました。

（映画マイノリティ・リポートでトム・クルーズが操作していたアレです）



また、ジェスチャーセンサーの別の呼び方で、非接触型タッチパネルというものがあり、アイタッチ・エアタッチという表現をしていました。詳細は以下のURL参照。

<http://www.utechzone.com.tw/>

台北市から南西に70Kmの新竹市の新竹サイエンスパークは、台湾のシリコンバレーと呼ばれる所でチャレンジ精神あふれる企業が集まっています。JASAツアーメンバーは3日間 Computex 視察でしたが、私は単独で1日だけTCAへ本視察を申し込みました。(もちろんJASA了承の上)当初はAndroid携帯でおなじみのHTC訪問が含まれていたが(これが目玉なのに)ドタキャンとなったので残念に思っていました。しかし実際には展示博覧会見学に留まらない経験ができ短期間を有効に使えたと考えています。

訪問企業は以下のとおりです。

- 工業技術研究院：
日本の産総研のような研究所。日本からも研究依頼あり(サララップなど)
- A2peak (太陽電池製造会社)：
もともと中国で生産していたが高い品質が求められ台湾製造に戻った。多くの製造が中国シフトする中で製造にこだわる企業。

- 泰山電子(EMSの会社)：
通信関連のボードや車載用のボード生産をしている中堅クラスの会社。鉛フリーのための受け入れ検査やエアーカーテン、静電気防止服など参加者(日本人)は驚嘆の声を上げていた。すでに日本ではこうした組み立て工場を見る機会がなくなっているという象徴である。

単独行動のおかげで、非常に内容の濃い視察ができました。MRT(都市鉄道)を利用したので特に観光はしていませんが、移動時に町の生活や名所をゆっくりと見ることができました。圧倒的な成長のエネルギーとビジネスに直結した無駄のないアクションを至る所で肌感じました。

また、麺類は日本のラーメンが一番美味しいと感じました。



東日本大震災への義援金の協力 有難うございました

去る3月11日に東北地方太平洋側を襲った地震・津波の被害に遭われた被災者の皆様に一日も早い復興と、お見舞いを申し上げます。

当(社)秋田県情報産業協会としては被災者の皆様の少しでもお力添えになればと、会員の皆様に義援金の協力をお願いした(一口千円)ところ、多くの皆様のご賛同を得、合計で38万7千円が集まりました。早速日本赤十字社宛に送金しました。早速被災者へ届けられることになると思います。

ご協力有難うございました。

義援金募集代表：近藤和生

平成23年度合同新入社員研修(一般研修)

4月11日から4月26日まで、秋田県工業技術センターを会場に、4社12名(男性7名、女性5名)の新入社員に対して、全12日間の研修を開催しました。

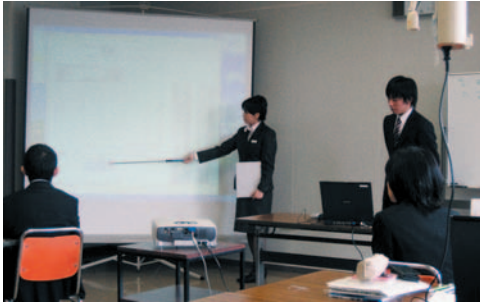
初日のオリエンテーション・開講式に続いてスタートした「ビジネスマナー研修」では少し緊張気味のような感じでしたが、体育会系出身者や部活以外の社会活動に積極的に取り組んだ受講者が多く、マナー演習が進むに連れて、明るい笑顔とハキハキとした声が飛び交い、熱心に学ぶ姿勢が印象的でした。

2日目以降のIT基礎研修では、PCとエクセルを活用した情報の分析・評価及び見積書の作成、情報処理技術者試験の対策テキストに沿った技術要

素から企業と法務までの幅広い基礎知識を学びました。また、要件定義からデモ用システムの提案・構築まで行うチーム演習では、協同で行う作業の苦勞と面白さを体験しました。

最後の2日間は、昨年皆様から好評をいただきました「プレゼンテーション研修」と成果発表会でした。ヘッドハンティング役でパートナーを他社へ売り込む課題に取り組み、売り込む人材の情報収集、売り込みのシナリオ作り、実践のビデオ取りと講師からの改善コメントを活かしながら、堂々と発表を行うことができました。

早いもので研修から4ヶ月が過ぎました。参加した新入社員の皆さんが配属先で活躍されることを期待しております。(福利教育委員会)



プレゼンテーション研修



和気あいあいに研修はすすむ



熱心な受講風景



参加者で記念写真

編集後記

今年は梅雨が短かったせいか、長い夏を経験した。毎年なら7月末にやっと梅雨が明けるものの、今年はもう7月に入ってからすぐ明けてしまっていた。つまり、1ヶ月近く長い夏を過ごしたことになる。最近はやっと真夏日からは解放されたようだが、毎日うだる暑さが体力を異常に消耗させ、今頃になって夏の疲れが出だして、体調を崩す人が多いこと。しっかり休眠をとり、早く体調を戻しましょう。

(発行人)

(株)秋田県情報産業協会

会長 近藤 和生

(編集責任者)

(株)秋田県情報産業協会

総務企画委員長 熊谷 正司

(印刷所)

(株)くまがい印刷

(発行日)

平成23年8月31日